

史跡・名勝に指定され、国内有数の観光地である桂川の嵐山地区では、周辺の旅館・料亭などへの浸水頻度軽減のために、可動式止水壁を設置する工事が2019年12月から着手され、現在工事中です。平常時の景観を損なわない対策として、この可動式止水壁による治水対策が採用されました。

1. 嵐山地区の洪水被害

嵐山地区は、狭窄部である保津峡の直下に位置し、毎年のように洪水に見舞われてきました。特に、平成25年18号台風では、渡月橋の橋面を洪水が乗り越えるなどの、浸水家屋93戸、浸水面積10haの被害発生により川沿いの旅館や土産物店が大きな被害を受けています。



平成25年の渡月橋を越流した洪水

2. 洪水対策の検討

平成25年の洪水に対処するために、河床に堆積している土砂の撤去などが既に実施されています。さらに、文化財保護法に基づく史跡・名

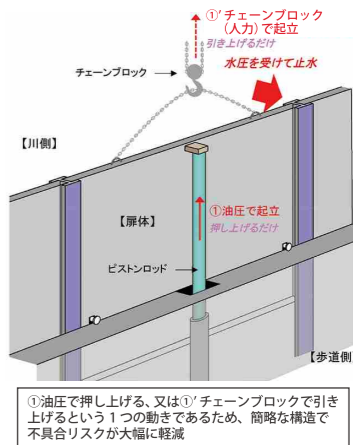
勝への影響を極力抑え、観光への影響や、景観・利用にも配慮し、専門家などからなる検討委員会の助言や、地元の見解も取り入れながら、国土交通省淀川河川事務所、京都府、京都市が一体となって検討が行われてきました。景観などに配慮した河川改修を行うためには、従来のような、河川掘削、河川堤防の嵩上げなどによる単独の対策では景観や文化財への影響が大きいため、渡月橋基礎補強の不要な範囲の河道掘削、景観への影響を最小限にした渡月橋上流の一の井堰改築、中之島背後の派川改修の組み合わせが検討され、さらに、陸側で最も低い渡月橋上流部左岸の溢水対策として、全国初となる可動式の止水壁が採用になりました。



検討中の対策案

3. 可動式止水壁とは

渡月橋上流の左岸地区では、景観への配慮のために、一般の河川のように土やコンクリート製の高い堤防壁は採用せずに、道路面から0から70cm程度の低い河川護岸の中に収納された鋼製の可動部が洪水の時だけ80cm立ち上がり、溢水を防止す



可動式止水壁の構造イメージ図

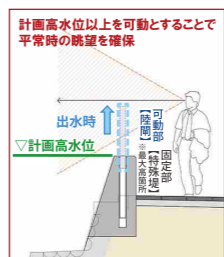
【資料提供：国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所】

る構造が採用されました。採用に当たり、構造上の信頼性や出水時の操作体制の確実性を確認しながら検討が行われました。また、「川・渡月橋・山を望む視点場として、それら風景が主役となるように自己主張を抑える。歴史的な雰囲気や周辺施設との調和を図る」をデザインコンセプトとして意匠の検討も行われました。

全国的には、同様の構造で、洪水時に畳や木製パネルを、あらかじめ設置してある枠に、人力ではめ込み浸水被害の軽減をはかる伝統的な防水工法が、たつの市の揖保川、岐阜市の長良川や宮崎市の五ヶ瀬川などに存在していますが、河川管理施設として可動式の止水壁が採用されるのは、全国で初めてです。



出水時



出水時

本誌は、近畿の「道の駅」、一部の府県および公共施設などに配布しています。インターネット環境をお持ちの場合は、<http://www.kc-center.co.jp/suishitsu/> においても最新号とバックナンバーをご覧になれます。誠に申し訳ございませんが、バックナンバーの配布は行っておりませんので、ご了承ください。



編集後記

「水が語るもの」は、2008（平成20）年の創刊以来、20号を迎えました。読者の皆様と執筆いただいた先生方のおかげと感謝しております。今までの20号分を振り返る特集を掲載しました。感染症は、歴史的にも発生が繰り返されています。今号では、鈴木康久先生と藤井薫先生に予定を変更していただき、歴史上の感染症への対応について記述いただきました。また、新シリーズとして、水に関連した地域活動を紹介する「みんなの水辺」を開始しました。第1回は、石田裕子先生による寝屋川市を中心とした活動を紹介いただきました。【担当：益倉 克成、服部 龍雄、鈴木里奈】

編集・発行 一般社団法人近畿建設協会 技術部  
〒540-6591 大阪市中央区大手前 1-7-31 OMM 13F  
TEL 06-6941-3413 FAX 06-6910-5953  
URL <http://www.kyokai-kinki.or.jp>

「水が語るもの」はインターネットでもご覧になれます。

<http://www.kc-center.co.jp/suishitsu/>

水が語るもの

検索



植物性インキを使用しています。この印刷物は再生素能紙を使用しております。

水が語るもの



水ものがたり

世界の川と水インフラ (6) —ミシシッピ川 その1—

世界の水 水辺空間を生かした都市再生の事例 —ヨーロッパ(その8)—

水害碑 —水辺の石碑は語る—

京都の水文化(その3) 「祇園祭」「葵祭」と「水」 —流れを語る水の価値—

水と文学 水分け街道をゆく

みんなの水辺

寝屋川市内を中心とした淀川左岸地域の流域連携活動

うおーたーねっと

水都大阪と幻の大阪万国技館 (12)

水が語るもの 第20号記念

創刊号から表紙と共に歴史を振り返ろう

川 THE RIVER シリーズ

京の雅を支えてきた川 桂川



水が語るもの

第20号 令和2年6月発行 (年2回発行)

# 水が語るもの



表紙写真

京都府京都市右京区「渡月橋」

## 目次

3

### 水ものがたり

世界の川と水インフラ(6) -ミシシッピ川 その1-

京都大学名誉教授 池淵周一  
(公財)河川財団研究フェロー

6

### 川シリーズ

京の雅を支えてきた川 桂川

10

### 世界の水

水辺空間を生かした都市再生の事例 -ヨーロッパ(その8)-

工学博士 中野 雅弘  
元大阪産業大学教授

12

### 水害碑

水辺の石碑は語る

14

### 京都の水文化(その3)

「祇園祭」・「葵祭」と「水」～穢れを払う水の価値～

京都産業大学 現代社会学部 教授 鈴木 康久

18

### 水と文学

水分れ街道をゆく

評論家・文化プロデューサー 河内 厚郎

22

### みんなの水辺

寝屋川市内を中心とした淀川左岸地域の流域連携活動

摂南大学 理工学部 都市環境工学科 准教授/博士(工学) 石田 裕子

24

### 水都大阪と幻の大阪大国技館(12)

水都の会 城北川プロジェクト 代表 藤井 薫

26

### 水が語るもの第20号記念

創刊号から表紙と共に歴史を振り返ろう

28

### トピックス

桂川嵐山地区における可動式止水壁の着工



ミシシッピ川とオハイオ川の合流点

- ①モンタナ州 ⑥ウィスコンシン州 ⑪インディアナ州 ⑱オクラホマ州
- ②ノースダコタ州 ⑦アイオワ州 ⑫オハイオ州 ⑲アーカンソー州
- ③ワイオミング州 ⑧ネブラスカ州 ⑬カンザス州 ⑳ミシシッピ州
- ④サウスダコタ州 ⑨ミズーリ州 ⑭ケンタッキー州 ⑲ルイジアナ州
- ⑤ミネソタ州 ⑩イリノイ州 ⑮デネシー州 ⑳テキサス州

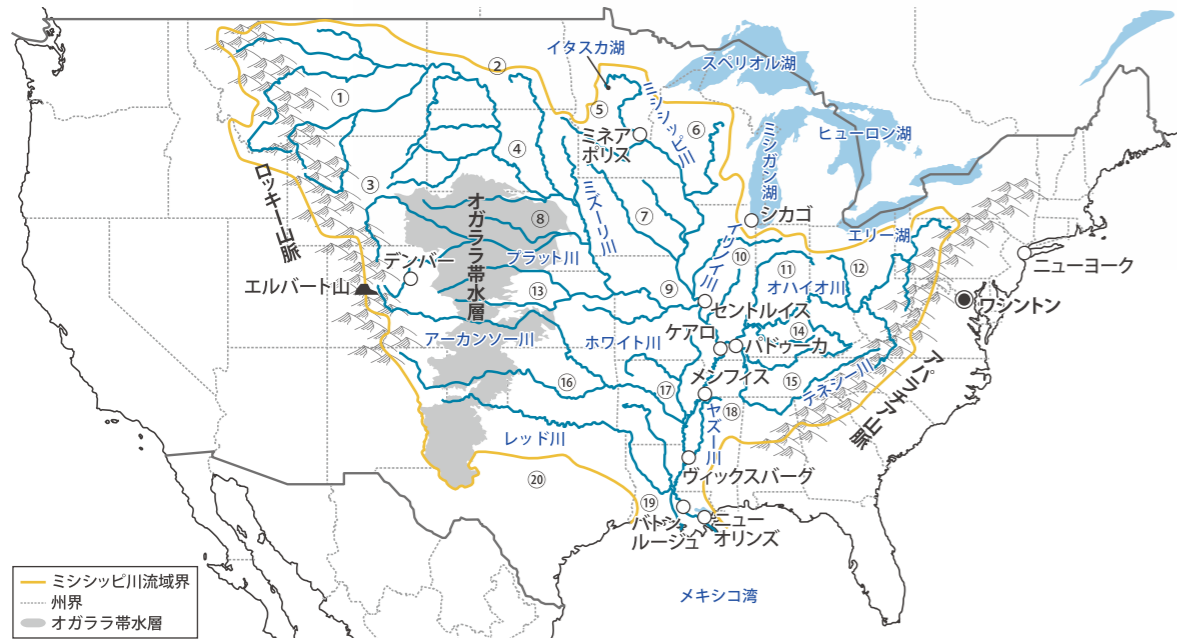


図-1 ミシシッピ流域と主要河川

# 水ものがたり

## 世界の川と水インフラ(6) -ミシシッピ川その1-

京都大学名誉教授  
(公財)河川財団研究フェロー

池淵周一  
いけぶちしゅういち



### 流域と河川の姿

アメリカ合衆国にあつては南北に走る西部のロッキー山脈と東部のアパラチア山脈の間に挟まれる内陸平原がミシシッピ川流域にあたる。この内陸平原は長期にわたる侵食作用によって、その高度が次第に低くなって平坦になった侵食平野である。図はミシシッピ流域と流域を流れる主要な河川である。図には山脈、流域界、州名(州名はルイジアナ州を除いて、すべてアメリカ先住民の言葉に由来する)、主要都市やオガララ帯水層も付記している。

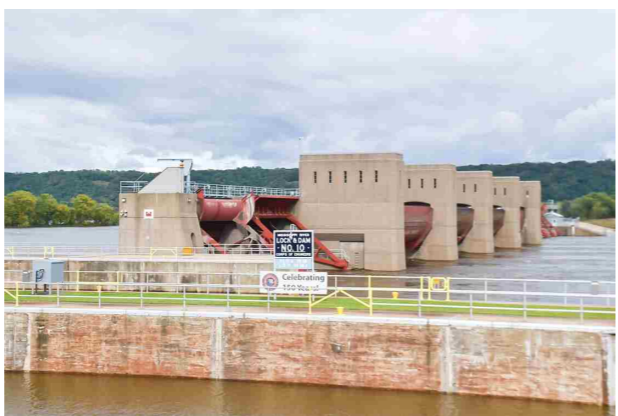
流域面積は324・8万km<sup>2</sup>で、この広さはアマゾン川、コンゴ川に次ぐ世界第3位である。合衆国にあっては国土の約40%を占め、流域内人口は約6,500万人である。

この侵食平野を流れるミシシッピ川本川はミネソタ州北部からアメリカ中央部を縦断して流れ、ルイジア

ナ州でメキシコ湾に注ぐ。上流ウィスコンシン州やミネソタ州には大小様々の多くの湖沼があり、氷河湖の名残である。流路長はミネソタ州北部イタスカ湖(氷河湖)を源流とするミシシッピ本川は源流から河口まで全長4,083km、一方、モンタナ州を源流とするミズーリ川はミシシッピ川の支川であるが、合衆国最長で4,300kmあり、ミシシッピ川は全長6,210kmと表現される。この6,210kmの長さはナイル川、アマゾン川、長江に次いで世界第4位である。実際には巨大ダム湖の出現や河道の直線化などで500km程短くなっているという。侵食平野を流れる河川は一般に緩勾配河川になるが、ミシシッピ本川の源流イタスカ湖の標高450mからすると、ミシシッピ本川の河川勾配は極めて緩勾配である。それぞれ特徴的な支流の流域は東のアパラチア山脈から、西は中西部の森と大草原、さらには遠くロッキー山脈まで広がっている。この広大な流域の中に冷帯湿潤気候、半乾燥ステップ気候、温暖湿潤気候と多様な気候区がある。流域の年間降水量では西部のロッキー

山脈付近は小さく、中西部の500mmから北部の800mm、イリノイ州南部での1,100mm、テネシー州の一部で1,300mm、南東部や南部で1,500mmと幅のある分布をしている。降水量の季節変化ではミズーリ川流域では春、夏がやや多いが、流域平均的には夏季に集中することなく、ほぼ年間を通して雨が降っている。

河川流量で見ると、ミシシッピ本川ヴィックスバーグ地点(集水面積約295万km<sup>2</sup>)での平均流量は毎秒約16,300m<sup>3</sup>で1月から5月が多く、4月が最も多い。他の地点、たとえばオハイオ川のルイスビル(集水面積約24万km<sup>2</sup>)での平均流量は毎秒約3,300m<sup>3</sup>で1月から4月の流量が多く、3月が最も多いのに対し、ミズーリ川最下流のハーマン(集水面積約136万km<sup>2</sup>)での平均流量は毎秒約2,200m<sup>3</sup>と集水面積の割には平均流量が少なく、しかも一年を通して流量は平均している。河口での年間総流量は5,800億トンで世界8位である。



閘門堰

一方、上流域には風化堆積岩や浸食されやすい氷河堆積物といった土

ら閘門堰の位置はダム位置とあわせて次号に示す。  
ところで河川や運河を結んでの輸送物資には穀物、石炭、石油製品、砂、砂利、建設資材など多岐にわたるが、とりわけミシシッピ川中西部に広がる大農業地帯で生産されるコムギやトウモロコシ、ダイズといった穀物は大量かつ重量のあるもので、河川輸送が優位である。ミシシッピ川沿いの河港都市は周辺の農作物の集散地となっており、集められた穀物は上流や支川では1,000トン級のバージを十数艘、本川下流では1,500トン級のバージを数十艘つな

壤浸食が著しい区域もあり、森林伐採や開墾による農地転用などからの土壌流出も加わって土砂流出が多い。ダムでの土砂堆積もあるが、河川勾配が緩やかなこともあって、ミシシッピ下流域は上流から流送された土砂が堆積する地形になっている。年間総砂量は3・12億トン、含砂量0・54kg/m<sup>3</sup>は黄河やガンジス川ほどではないが、かなり多い。

### ミシシッピ川と運河がもたらした舟運・舟航と大量の水上市物輸送

ミシシッピ本川の源流と言われているミネソタ州イタスカ湖の標高は450mである。湖から流れ出た川は蛇行をしながら全長4,083km(実際には河道整備で3,779kmの長さになっている)、落差450mでメキシコ湾に注ぐことになる。この長さとは高低差を考えると、河川勾配は緩く、かなりの河道区間で船舶の航行が可能である。

ミシシッピ川の舟運は18世紀初頭に始まったとされ、19世紀初頭の蒸気船の発明によって舟航性能がアップし、物資輸送量が増大した。さらにミシシッピ川流域の北東部には五

ぎ、それを後からトウボートで押して河口のバトンルーージュからニューオリンズまでの間にある港へと運ばれる。これらの港は穀物の輸出港として重要で、アメリカの穀物輸送の6割はここからアジアなど世界各国に輸出されている。

### 大規模農業と水利利用

ミシシッピ川流域の農業的土地利用をみると、流域面積に占める耕作地は35%、牧草地34%と広大である。わが国の耕作地の大半が水田稲作地であるのと違い、耕作地はすべて畑作地である。かつてはトールグラス(長い丈の草)平原であったところ

が開発により大穀倉地帯になった。灌漑農地は中西部、南西部のネブラスカ、カンザス、オクラホマ、テキサス州などに多い。これら耕作地での主たる栽培作物はトウモロコシ、大豆、冬・春小麦であり、このうちトウモロコシ、大豆は国内生産量の80%を占めるといわれている。また、牧草地面積も広く、ウイスクンシン、ケンタッキー、テネシー、アラバマ州などでは家畜の飼料である飼葉を育て、牧畜業が盛んである。  
ところで年降水量が500mmを下

大湖があり、大西洋に注ぐハドソン川とエリー湖をつなぐエリー運河が1825年に完成(全長580km)、西では1848年イリノイ・ミシガン運河(全長150km)が開通、その後東ではエリー湖とオハイオ川がオハイオ・エリー運河などで繋がっている。こうした大西洋と五大湖、ミシシッピ川が運河で繋がることによって、内陸都市の発展はもとより中西部の農業や工業が活況を呈することになったことは言うまでもない。

古くは中国の長江と黄河をつなぐ京杭大運河が中国の南北問題の軸を強化したように、ミシシッピ川と運河による東海岸、五大湖の繋がりはミシシッピ河口からメキシコ湾にまで繋がったわけで、地域間の地理的な違いを超えて、大量の物資輸送による経済発展はもとより人々の中央部さらには西部への移動、定住を加速し、情報や技術の伝達・普及を早め、文化の融和・融合を育み、アメリカという大陸サイズでの南北、東西方向の一体化に貢献している。セントルイスの高さ192mのゲートウェイ・アーチはこの町が、この

回り、地表水も少ない中西部、南西部の乾燥地帯で灌漑農地が広がっているが、その灌漑水源はどうなっているのだろうか。アーカンソー川やレッド川からの取水もあるが、そのほとんどが中西部から南西部にかけて広がるオガララ帯水層の地下水に依存している。

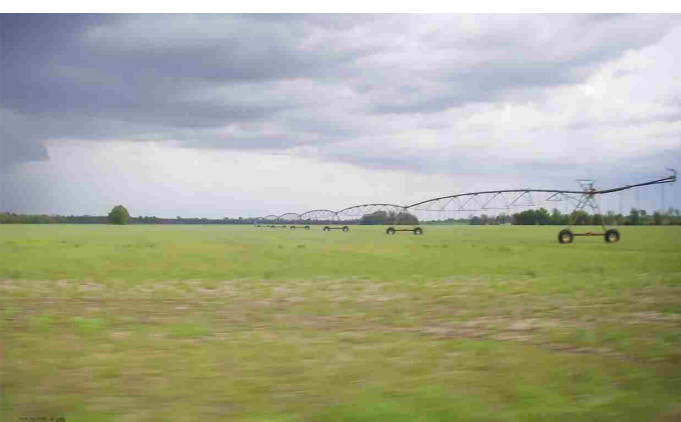
オガララ帯水層は総面積450,000km<sup>2</sup>におよぶ世界最大級の地下水層であり、そこから汲み上げられた地下水がスプリンクラーを用いて散水をおこなうスプリンクラー灌漑や、半径1kmもあろうかという大型の自走式散水管に化学肥料入りの汲み上げ水を高圧注入し散水するというセンターピポット灌漑で、広大な農地に大量の地下水が散布される。

もちろん、こうした散水方式は水の効率的利用として有用性がいわれているが、長年にわたっての大量の地下水を揚水してきたことから、地下水位の低下、ひいては地盤沈下も誘引している。ひどいところでは30~40mも地盤沈下している。乾燥地の灌漑農地にあつては、土壌の塩類集積という問題も加わる。  
なお、ミズーリ川流域もその大部

国の西部への玄関口であったことを表すシンボルでもあった。

ミシシッピ本川の舟運・舟航についても現にアメリカ中央部における輸送の大幹線となっている。本川上流はミネアポリスまでおよそ700km遡行でき、支流であるミズーリ川では1,225km、オハイオ川では1,635kmと遡行距離は長い。テネシー川、アーカンソー川などもかなり上流まで遡行可能となっている。この船舶の安定な遡行・降下には航路維持のための河道整備や水深確保のための浚渫(2・7m以上の水深確保)、閘門堰(Lock & Dam)の設置が大きい。これらの事業主体は米国防軍工兵隊である。現に、ミシシッピ本川のセントポールとセントルイス間には29の閘門堰がある(写真)。中でも13号閘門堰は全長1,566mとミシシッピ本川で最も幅の広い閘門堰である。イリノイ川、オハイオ川にも多くの閘門堰があり、オハイオ川の支川テネシー川にあつてはオハイオ川合流点までに堤高20m強のダムが9つあるが、いずれのダムにも閘門(ロック)が併設されている。これ

分が平原であり、大穀倉地帯でもある。この地の灌漑農地では水源はダムに依存するところが大きい。灌漑目的のダムや水路の多くは米国内務省開拓局が整備しており、灌漑農地に水を供給している。  
いずれにしても農業形態としての畑地灌漑にあつても個々の畑地面積は広大で、作物の播種から収穫までのプロセスにあつての散水機をはじめとする耕作トラクターやコンバインなど大規模・大型機械化農業には、その生産高の大きさとともに圧倒さ



自走式散水管

京の雅を支えてきた川

# 桂川

— かつらがわ —

桂川は、丹波山地東端の周山地域を水源とし、支川を合わせながら西へ流れ、日吉ダムに流入し、その下流で流れを南に変え、園部川などを合わせ亀岡盆地を東南に流れ、保津峠を経て、京都盆地に入り大山崎付近で、木津川、宇治川と合流して、淀川となる流域面積1100km<sup>2</sup>、長さ114kmの河川です。淀川の支川ですが、流域面積は、単独の水系の大河川に匹敵する大きさを持っています。保津峠の出口の嵐山から合流地点までの扇状地と低地からなっている区間、山間を屈曲して流れる保津峡、川沿いに平地が広がる亀岡盆地の区間、日吉ダム上流の源流地域と特徴の異なる区間から成っています。

(参考)「淀川水系桂川上流圏域河川整備計画」京都府、平成30年8月)

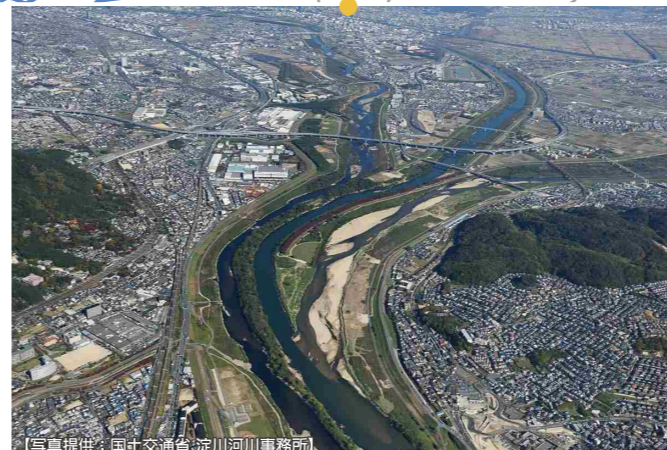


〔長岡宮〕復元想像図  
〔長岡京市教育委員会所蔵・提供〕

## 1 長岡京跡

延暦3(784)年に桓武天皇によって奈良の平城京から移された長岡京は、桂川の最下流の西側の段丘上にありました。東西4.3km、南北5.3kmと平城京や平安京に匹敵する広大なものでした。しかし、延暦11(792)年の大洪水や早良親王の死とその怨霊の恐れから延暦13(794)年に平安京に都が遷され、比較的短命な10年の都でした。この都は、淀川などの大きな河川が流れ、水陸の交通の便に恵まれ、都の中には、基盤の目のように配置された道路があり、長岡宮に繋がる中央部の朱雀大路や右京と左京に4本つづの南北方向の大路が造られていました。現在その多くの地域は市街地の下になっていますが、大極殿のあった場所は、公園にされていて、往時をしのぶことができます。(長岡京市HP)

## 桂川・木津川・宇治川の三川合流点



〔写真提供：国土交通省・淀川河川事務所〕

天王山と男山に挟まれた狭い地点で、左から、桂川、宇治川、木津川が合流。三川合流部付近にはかつて面積8km<sup>2</sup>もの巨椋池が存在していましたが、繰り返し繰り返される洪水の対策のために宇治川左岸(久御山町側)沿いに堤防を築いて分離され、昭和16年には干拓されて戦後の食糧増産に寄与しました。しかし、昭和28年台風13号洪水時において、宇治川左岸(南側)の堤防が決壊し、巨椋池干拓地一帯が長期にわたり浸水しています。



〔さくらであい館〕からの桜並木の眺望



ていました。その後、江戸初期に角倉了以によって航路整備の工事が行われ、高瀬舟による丹波と京を結ぶ動脈として発展しました。さらにその後の明治年間の陸上輸送の発達によって舟運の機能は途絶えました。現在は、16kmの距離を2時間かけて渓谷の景観を楽しむための観光機能を果たしています。また、旧山陰本線の渓谷沿いの線路を利用して、1991(平成3)年から嵯峨野観光線のトロッキ電車により多くの観光客を集めています。



## 5 清滝川

保津峠の下流部に左岸から合流する流域面積69km<sup>2</sup>、流路延長40kmの桂川の支川としては比較的大きい山間部を流れる河川です。流域には、古来から紅葉の名所として知られる三尾(高雄(尾)、槇尾、桐尾の総称)に、神護寺、高山寺、西明寺があります。また、流域の奥には、京都の市街から眺望される標高924mの愛宕山がそびえています。



桐尾山高山寺の石水院(鎌倉時代・国宝)



## 3 保津峡

桂川(この区間は保津川とも呼ばれる)は、亀岡から嵐山の間を11.5kmに亘って、狭い山間部を屈曲して流れています。これは先行谷の地形であり、川を横切るように走向する丹波層群の隆起において、河川の下方浸食が隆起速度に勝ったため緩い勾配時の自由蛇行の流路がそのまま維持されて出来上がったものです。この狭窄部によって洪水時に水位がせき上げられ、上流の亀岡盆地では、農地や家屋の被害が頻発していました。亀岡駅前には浸水の記憶の伝承のために水害標識塔が設置されています。平成10年の日吉ダムの完成後には浸水被害の発生回数は減少していますが、その後も平成16年、平成25年の洪水などでは大きな被害が発生しています。

保津川では、早くから水運が開け木材が運ばれ、長岡京や平安京の造営を支



## 4 京都スタジアム(亀岡市)

亀岡市は、桂川(ここでは大堰川または保津川と呼ばれています)が、保津峡に流入する直上流に位置する丹波国最大の都市です。戦国時代の末期の明智光秀による丹波亀山城と城下町の構築が都市の基盤になっています。

桂川に近いJR亀岡駅前に、サッカーJ2の京都サンガF.C.が本拠地とする京都スタジアムが、2019(平成31)年に完成しました。スタジアムを核としたまちづくりが周辺で進められています。このスタジアムは、当初、少し北側の桂川沿いの農地に計画されていましたが、国の天然記念物のアユモドキの生息地であったため、現在の位置に計画変更され、元の場所はアユモドキ保全と両立する自然体験型の「京都・保津川公園」として整備されています。



## 6 日吉ダム

日吉ダムは、亀岡盆地の上流端に近い、南丹市日吉町にあります。桂川が淀川となる三川合流点から55km上流になります。保津峠の上流域である亀岡盆地は、河川の狭窄部である保津峠の影響を受け、昭和28年、35年、57年の洪水などにより浸水被害が頻発していました。このため、下流の洪水被害の軽減や京都府、大阪府、兵庫県への水道用水の供給などを目的として、構想され、37年の歳月をかけ1998(平成10)年に完成しました。ダム管理の水資源開発公団(現水資源機構)は、日吉町(当時)とともに早くからダムによる地域振興を目指し、ダム直下流の複合温泉施設「スプリングひよし」の建設や観光地としてのダムの価値を上げるために全国初のダム内部の一般公開などを実施し、ダム周辺は丹波地区の観光地として定着しています。ダムを利用したまち興しの成功例です。

## 7 京北地区

日吉ダムの上流の京北地区は、桂川の源流地域になります。地域のほとんどが森林で北山杉の磨丸太などの産地として林業が盛んです。地区を貫流して桂川が流れていて都に近いこともあり皇室とのつながりが強い地域でした。また、平安遷都の頃からの古街道で、京都御所と鞍馬寺をむすび山城国から丹波や若狭を結ぶ鞍馬街道(西の鯖街道)も通っていて交通の要衝でもありました。

この地区には、天皇の分骨所となっている常照皇寺があります。格式の高い禅宗寺院で天然記念物の枝垂れ桜やもみじが有名です。

# 平成25年 台風18号の洪水に対する桂川下流部での洪水防御

—懸命な水防活動とダム操作により堤防決壊による被害を防止—

平成25年の台風18号による洪水被害は、桂川の嵐山地区や亀岡盆地のJR亀岡駅の浸水被害が、マスメディアにより大きく報道されました。もう一つ桂川下流部で堤防を越水する事態が発生し、堤防決壊の恐れがありました。防災関係者の懸命な努力により壊滅的な被害が回避されました。近年の降雨の増大により昨年の東日本など大きな被害が全国的に発生していますが、ここでは、壊滅的な被害を免れた事例を紹介いたします。

## 1. 広範囲で強い降雨による近畿地方全体での被害

台風18号は、9月14日には強風域の半径500km以上の大型台風になりました。近畿地方では、台風の通過に伴って、周辺から流れ込む雨雲の影響により雨域が居座り、長時間にわたる強い降雨が発生しました。特に観測史上1位を上回った箇所は24時間降水量で18地点、48時間降水量で15地点に達しました。

国管理河川では、計画高水位を超えた河川が、淀川水系の桂川、宇治川や由良川本川など4河川に達し、7河川で避難指示または避難勧告が発令されました。

## 2. 桂川下流部の出水状況

桂川下流部では、嵐山地区で渡月橋の橋面を乗り越える洪水が発生し、93戸の浸水被害が発生しました。(トビックス参照)

京都市伏見区の久我橋下流右岸では、16日7時過ぎに堤防の越水が始まり、9時半ごろに約400mの区間で越水し、洪水が堤内に流れ込みました。このため、桂川・小畑川水防事務組合(水防団)と自衛隊が土の積などの懸命の水防活動を行いました。また、日吉ダムの他、淀川水系のダム群による洪水調節と琵琶湖の流出部の瀬田川洗堰の全閉操作により桂川の水位を下げることに努め、16日10時20分に越流が止まり、堤防決壊の最悪の事態がかううじて免れました。

もし、この地点で、堤防が100mに亘り決壊したと考えると、浸水面



桂川・小畑川水防事務組合による水防活動

に面した交通の要衝が選ばれたと思われま。

中央に複雑な形の池を配した回遊式庭園と数寄風の純日本式建築物で構成されています。庭園の構造は、茶室などからの視点を定め、そこからの眺望を考慮しています。造営当時は周辺は田畑が広がる景観であったため、これを借景にしました。近年の周辺の住宅地化により、目隠しとして樹木を大きくし、現在は山が借景となっています。南側の農地だけが買い上げにより保全され、当時の景観を味わうことができます。

### 桂離宮の立地

京都盆地には、この桂川と京都の中心部を流れる鴨川の二河川が北から流入していますが、どちらも、北部の山間地域で発生した土砂の運搬によって扇状地が形成されています。両河川の山地の地質状況の差により、鴨川の方が扇状地の形成が著しくなっています。

桂離宮は、国土地理院の治水地形分類図によると桂川の氾濫平野に位置していて、周辺は旧河道が乱流していた地形になっています。桂川は保津峡の出口である嵐山付近で平野に流入していますが、上述の通り扇

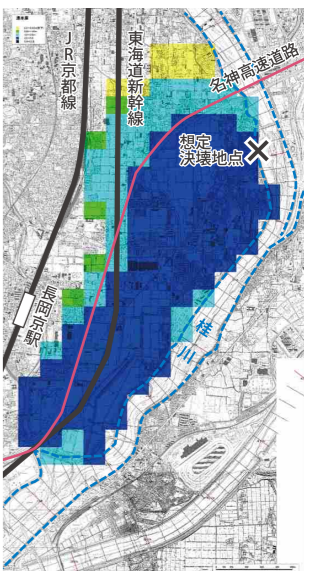
積約980ha、浸水世帯数約13,000世帯、被害額約1兆2,000億円の莫大な被害が想定されます。

桂川上流の日吉ダムでは、ピーク流入量の毎秒約1,690m<sup>3</sup>を約9割低減の毎秒約150m<sup>3</sup>に下げたために、ゲート操作により約4,460万m<sup>3</sup>の洪水を貯留しました。これにより、嵐山で、河川の水位を約50cm低下させる効果があったと推定されます。

また、越水地点は、淀川水系の三川合流地点に近く、水位は合流地点の影響を大きく受けるため、淀川水系の7ダムの防災操作と琵琶湖の出口の瀬田川洗堰の全閉操作も行われました。これらの施設の操作により、施設下流の洪水被害を軽減するとともに三川合流地点の水位を下げることで桂川の堤防決壊も防止することができました。



洪水を貯留した日吉ダム



堤防決壊の場合の浸水深の想定

淀川水系の施設が連携した洪水被害の軽減ということではないでしょうか。今回の洪水では、桂川久我橋下流での堤防上の越水の深さは、10~20cmであったため、水防活動による土の積が出来、堤防決壊を免れました。もし、淀川水系のダム群による防災操作がなかったと仮定した場合に、堤防上の越水深さはさらに数10cm高かったと推定され、そのような状況では土の積作業も困難であり、上述のような壊滅的な被害発生の可能性があったと想定されます。

## 3. その後の洪水被害防止対策

桂川において、平成25年の被害を軽減するために、国土交通省が緊急対策特定区間として設定し、平成26年からの5年間で170億円を投入し、河道掘削、築堤、堰撤去などが実施されています。これらの事業により、平成30年7月豪雨時には久我地区において、水位を約50cm下げることができました。

## 桂離宮と桂川



池越しの書院

昭和の初めに来日したドイツの建築家のブルーノ・タウトが「泣きたくなるほど美しい」とその簡素な美を称賛した。桂離宮は、桂川の右岸(西岸)の三川合流点から約12km上流にあります。江戸初期の1615(元和元)年に智仁親王によって造営が始められ、1662(寛文2)年にほぼ現在の形に完成し、現在は宮内庁によって管理されています。当時の交通路である桂川と丹波街道



桂離宮周辺の「治水地形分類図」【国土地理院】

状地の発達は顕著ではなく、京都盆地の最も低いところを流れています。

### 桂離宮の水害特性と水利用

「京都歴史災害年表」によると京都における水害は数多く発生したことが判明していますが、桂離宮周辺の具体的な水害は歴史的文書には記載が見られないとのことです。これは鴨川では河川が天井川化したことと、被害を受けるものが多かったことに対し、桂川は、京都盆地の低い部分の流れ、被害を受けるものが少なかったことにより記載がなかったと推定されます。しかし、地形的には、桂離宮は水害を受けやすい場所に位置しているため、洪水を避ける工夫がなされています。



桂川沿いの「桂垣」

桂川に面した生け垣は、地面から生えた竹をそのまま組み込んだ「桂垣」になっ

ています。これは、洪水の流勢を弱める水防林のような機能を果たし、垣の面が細かく織り込まれているため、洪水に含まれる土砂を漉し取り壊滅的な被害を防止する機能を果たしていたと思われる。また、主体的な構造物の書院(古書院、中書院、新書院)は高床式構造になっていて床上浸水を避けることに役立っていたと思われる。低い位置にある茶室の松琴亭には、洪水痕跡とされる、色が変わった水平のラインがありますが、この高さは、書院の畳の表面とほぼ一致しています。このような工夫により、桂離宮は流失などの大きな洪水被害を受けずに現在まで残っていると推定されます。



松琴亭肉部の洪水痕跡



高床式構造の書院

また、池への水は、かつては、桂川の堰から導水されていましたが、現在は、河川改修により桂川の水位が低下したため、西側の灌漑用水からの導水と地下水によって涵養されています。

# 世界の水

## 水辺空間を生かした都市再生の事例 —ヨーロッパ(その8)— 北欧・デンマークからスウェーデンへ

工学博士・元大阪産業大学教授  
なかの まさひろ

中野 雅弘



### はじめに

前回でご紹介したように、北ドイツのハンブルグからの鉄道列車がそのまま船(フェリー)に乗り込み、島々の間の海峡を渡るコースでデンマークの首都であるコペンハーゲンを訪れます。さらに、2000年に開通した全長16kmで、ヨーロッパ最長の鉄道併用道路橋と海底トンネルにより、スウェーデンのマルメへ渡るコースです。前回も述べましたが、これらの町はかつてバルト海で繁栄を極めたハンザ同盟の各都市でもありますが、ヨーロッパでも北欧に入ると人々の優しさで穏やかな気分を



感じるのは、私だけでは無いように思います。

### 1. 北欧の玄関口で運河の町、コペンハーゲン

北欧諸国の中で最も南に位置し、複雑な半島と500以上の島々からなりなだらかな国土をもつデンマークの首都コペンハーゲンは、北欧への玄関口であり北欧の雰囲気味わわせてくれる町です。ハンザ同盟時代の港町として栄えたこの町は、18世紀につくられたカラフルな建物が



運河沿いのニューハウン

運河沿いに並ぶ「ニューハウン」と言われている地区があります。最近では以前の舟運の港町というより、お洒落で美しく整備され、オープンカフェやレストランの並ぶ観光スポットとなっています。この町は童話作家アンデルセンが居住したこともあり代表作の一つ「人魚姫」の像が有名です。また、王宮である「アマリエンボー宮殿」や、少し歩くとシェイクスピア「ハムレット」の舞台となった世界遺産「クロンボーク」があります。それらはいずれも「水辺」にあります。



海辺に浮かぶクロンボーク城



水辺にある「人魚姫」の像

### 2. 国境(デンマークとスウェーデン)越える橋、「オーレスン・リンク」

デンマークのコペンハーゲンからスウェーデンのマルメへ向かいます。鉄道では「オーレスン・リンク」といわれるオーレスンド海峡を結ぶ鉄道併用道路橋および海底トンネルを通ります。それまでは、行き来にはフェリーしかなく小一時間かかっていましたが、この橋のおかげで両都市の中央駅から鉄道でつながり、それぞれの都心部に35分で往来できるようになりました。

この橋は2000年に開通し、全長16kmのヨーロッパ最長の鉄道併用道路橋です。海峡の真ん中には人工島ペベルホルム島があり、アマー島からペベルホルム島までは海底トンネル、ペベルホルム島からスカンディナヴィア半島までは橋が通っています。トンネルは4050m(海底部3750m)、島上のルートは4055m、橋は7845mです。デンマークとスウェーデン

の国境はオーレスン・リンクのステューデン側末端から5・3kmの地点にあり、これらのルートには、複数の鉄道と4車線の道路が設けられています。鉄道(オーレスンド線)の運行は、スウェーデン国鉄とデンマーク国鉄が共同で実施し、トンネ

ルの途中にコペンハーゲン国際空港の直下に空港と直結した地下駅があり、スウェーデン側からのアクセスも良く、鉄道から飛行機の乗り換え性が良く公共交通の起終点はしっかりと整備されています。この点はヨーロッパの大都市(パリ、フランクフルト、アムステルダムなど)において、

空港と鉄道の乗り換え利便性の向上させているのと同様です。

### 3. 対岸にあるスウェーデンのマルメを訪れる

マルメは、17世紀にスウェーデンの領土になるまで、デンマークの支配下であり、15世紀にはデンマークだけでなくオーレスンド海峡における最も重要な商業都市でした。中世の赤レンガの建物や石畳の広場などがあり落ち着いた雰囲気を感じさせる町です。また、その後も商業都市として発展を続け、現在では、ストックホルム、ヨーテボリに次いで人口の多い、スウェーデン第三の都市となっています。鉄道駅を降りると、昔の港町の雰囲気を残す地域

には水辺が整備され、少し離れた地区には再開発された建物が立ち並びます。ちなみに、マルメはかつて私が学生時代に技術研修(今というインターンシップ)で2か月滞在した町で懐かしさを感じたものです。

### おわりに

今回ご紹介した2つの都市は異なる国の港町ですが、この海峡を挟んで向き合うコペンハーゲンとマルメの両都市は共に水辺(海や河川)にあり舟運を利用して繁栄した都市で、共に近年の他の都市と同様に水辺を「憩いの場」として整備されています。それと同時に、今回の例のように隣接した他国の都市間を橋とトンネルで結ぶなど、連携した都市間のネットワークを形成して将来への発展を目指しています。

現在、EUは英国の離脱という新たな事態を迎えて共同体としての環境変化を迎えています。一方で今回の事例のようにヨーロッパ地域内の都市間を交通インフラなどでネットワーク形成して、地域連携を実現させようとしていることも注目すべきことかも知れません。



オーレスン・リンク(中央部は橋梁で、デンマーク側はトンネル)



ルートの途中から海中へ



乗車中の列車の窓から



マルメ中央駅近くの水辺

今号では、19号に引き続き、安政南海地震などによる和歌山県内の津波の災害碑を紹介いたします。

災害碑などの歴史的資料による災害教訓の伝承の重要性については、内閣府の中央防災会議の平成15年に設置された「災害教訓の継承に関する専門調査会」では、早くから「被災の経験と国民的な知恵を的確に継承し、国民の防災意識を啓発するとともに、将来の災害対応に資することを目的」として活動が行われていましたが、昨年の国土地理院の「自然災害伝承碑」の地図記号の追加など認識が高まっています。



自然災害伝承碑  
地図記号

和歌山県の沿岸部は、多くの津波により様々な被害を受けてきたため、当時の被害の状況を後世に伝え、今後の災害被害を軽減したいという、先人の思いから多くの災害碑が設置されています。「和歌山県内の津波碑」には、これらの碑が紹介され、被害・教訓伝承6、到達記録43、犠牲者供養2、災害復興の偉業顕彰3となっています。今号では、安政南海地震での濱口梧陵の業績を含め、いくつかの災害碑を紹介いたします。

現代の災害碑



稲むらの火祭り

和歌山県広村での  
安政南海地震による被害と濱口梧陵の功績

当時の紀伊国の広村（現和歌山県有田郡広川町広）は、リアス式海岸の地形が誘因となり、昔からしばしば津波の来襲を受け、大きな被害を受けてきたことが報告されています。正平16（1361）年の南海地震以来昭和21（1946）年の昭和南海地震まで、8回の津波被害を受けています。中でも宝永4（1707）年には死者300人近くの被害を受けていました。また、安政元（1854）年には、11月4日の安政東海地震津波とその32時間後に安政南海地震津波に襲われ、36人の津波による死亡者が発生しました。この時に濱口梧陵は、暗闇の中で村民を避難させながら高台である広八幡神社に避難しましたが、逃げ遅れた村民を救うために松明に火をつけ田んぼの稲むらに火をつけ避難路の道しるべとしました。このため多くの村民が高台に避難できました。この行為が、今や世界的に有名な「稲むらの火」です。これにちなみ、津波被害を伝承し、濱口梧陵の功績を讃えるために、毎年、11月に当時を再現して、暗闇の中を松明を持って広八幡神社へ

の避難を振り返る「稲むらの火祭り」が行われています。濱口梧陵の活躍は、この「応急対応期」とどまらず、その後の「復旧対応期」と「復興対応期」に相当する時期の活動も行っています。「復旧対応期」には、避難者への食料供給、治安対策や緊急雇用対策を実施し、「復興対応期」には、村民の離散を防ぐために、雇用対策に役立つ再度の被害防止のための私財で賄った広村堤防の建設に着手しています。これらは、現代にも通じる一貫した災害対策と言えます。



稲むらの火の館  
津波防災について学ぶとともに濱口梧陵の功績を  
讃える施設です



広村堤防内の「感恩碑」  
濱口梧陵の偉業に感謝するために  
昭和8年に建立され毎年11月に小  
中学生による堤防への土盛りなどの  
「津浪祭」が行われます

【写真提供：稲むらの火の館】



東光禅寺の「津浪之碑」

田辺市の跡之浦地区の小高い丘にあります。「宝永の津波の時は跡之浦から来た波と新庄からのものが打ち合ったが、この度の安政の津波は下の田面より上がらなかった」と宝永の津波の方が大きかったことが書かれています。昭和23年に「旧家榎山家古記録」を基に建立されています。



美浜町の「津浪之紀事」

文久2（1862）年の当初には町内の神社に建立されましたが、その後浜ノ瀬の公民館の分館に移設されています。碑文が薄れていますが、津波避難タワーという災害伝承にふさわしい場所にあります。大地震には津波が伴うものであるため、船で川中などに避難せず、大松原の小高い所に避難すべきとの教訓が記されています。



白浜市富田地区の「津波警告板」

和歌山県内には、石碑以外にも警告板の形で災害の恐ろしさを伝えようとしたものもあります。その1つの富田地区の宝永地震津波を伝えた警告板です。村の祭礼などの時に、展示され災害体験の伝承の役割を果たしたとのこと。現物は富田地区に保存されていますが、かつて設置されていた、白浜市十九洲の日神社でレプリカを見ることが可能です。津波の被害状況を示したのちに「地震が起こったら必ず津波が来ることを覚悟しなければならぬ」と後世への教訓を伝えています。



湯浅町の  
「大地震津波心得の記」

湯浅町の深専寺山門横にあります。津波発生に近い安政3（1856）年に建立されました。背面の碑文によると地元の町人によって造られたことがうかがわれます。「地震が起これば、津波が押し寄せてくるものと考え、この深専寺の門前を通って天神山の方へ逃げる」と記されています。



すさみ町大日山の  
「為後鑒」

安政4（1857）年に大日山中腹に建立されましたが、その後山頂に移設されています。当時、村民が大日山に逃げ助かったことから、それを後世の教訓にするために造られました。

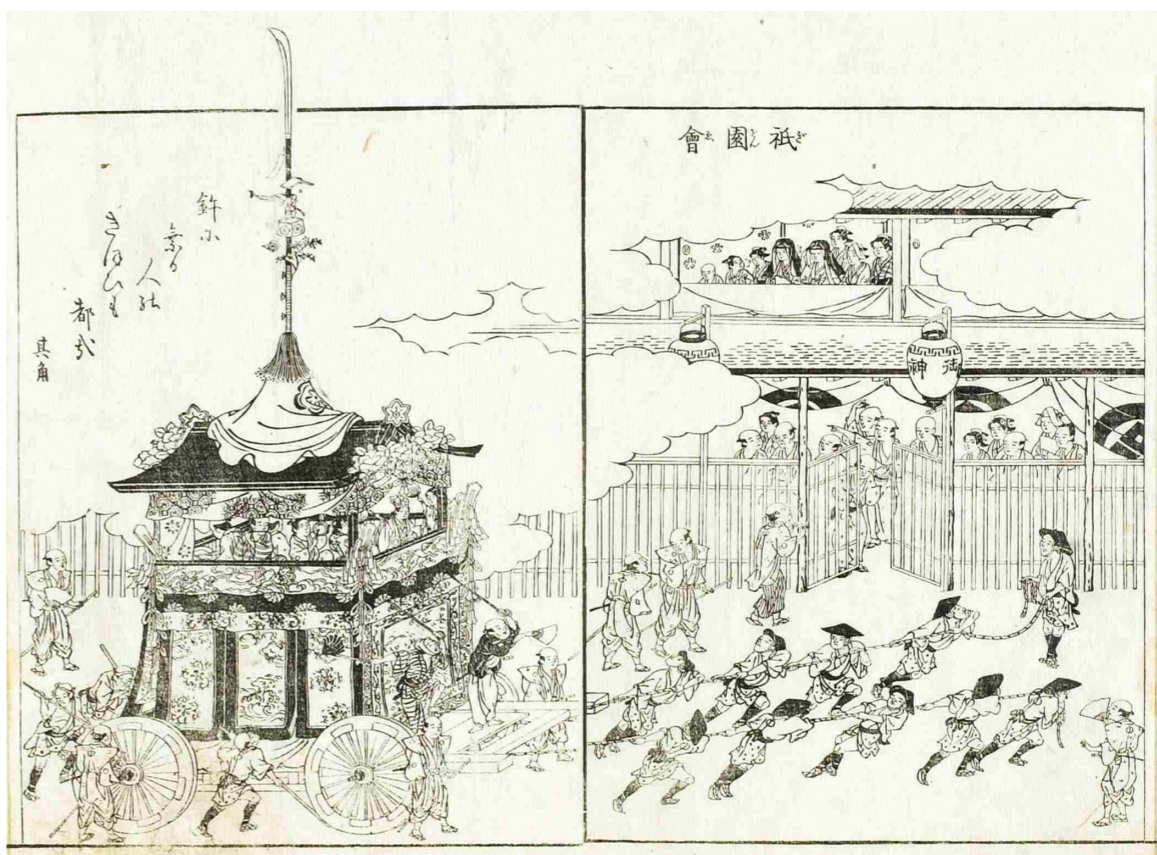
【参考文献】「和歌山県内の津波碑」（国立研究開発法人 海洋開発機構、和歌山県）  
「1854 安政東海地震・安政南海地震」（災害教訓の継承に関する専門調査会報告 平成17年3月）  
「1707 宝永地震報告書」（災害教訓の継承に関する専門調査会報告書 平成26年3月）

# 京都の水文化（その3）

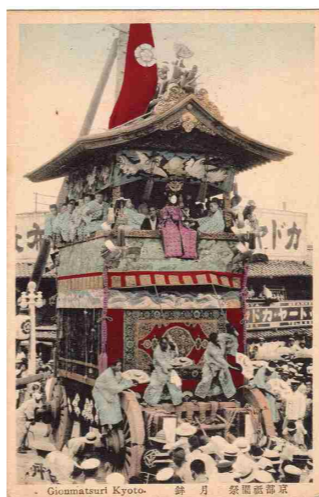
「祇園祭」・「葵祭」と「水」の穢れを払う水の価値

京都産業大学 現代社会学部 教授

鈴木康久



祇園祭の山鉾巡行の様子『都名所図会（巻之二）』（1780年）  
（国際日本文化研究センター所蔵）



人並の中を巡行する「月鉾」  
（大正期の絵葉書）

世界的規模で猛威を振るう新型コロナウイルスが、私たちの暮らしを脅かしている。見えないウイルスは私達の不安を増大させる。どのように対処すればよいのか。平安期にも疫病が猛威を振るっていた。そこで始まったのが祇園祭等である。本号では「穢れを払う水」について取り上げたい。

祇園祭が始まった目的が、疫病退散であることを耳にした方は多いのでは。しかし、動く美術館と呼ばれる懸装品や華やかな山鉾巡行に目が行きがちで、千年に渡り「水で穢れを払ってきた水文化」が息づいていることは知られてはいない。

祇園祭の始まりについて、祇園社の社伝である『祇園社本縁祿』に「貞観十一年（869年）、天下大疫の時、宝祚降永・人民安全・疫病削除・鎮護のため、卜部日良麻呂、勅を奉じ

て、六月七日、六十六本の矛（長さ二丈許）を建つ。同十四日、洛中の男児及び郊外の百姓を率いて神輿を神泉苑に送り、以て祭れり。これ祇園御霊会と号す。爾来、毎年六月七日と十四日、恒例と為す」とある。

本縁祿から祇園祭の起源は1100年以上も前に、卜部日良麻呂（平麻呂）が都の東にあたる祇園の地で、旧暦の6月7日に66本の矛に疫神を集め、6月14日に疫神を神輿で運び神泉苑で流したことがわかる。水文化の視点から重要な記述は「神輿を神泉苑に送り」である。この行為は「神泉苑」が池を中心とした禁苑で、朝廷が初めて行った「御霊会」の場所であることに深く関係している。

そもそも、「御霊会」とは何か。平安期以前から疫病や天変地異などは、今日の新型コロナウイルスと同様に見えない災いであり、朝廷はその災いが政争の中で失脚し、亡くなった貴人の祟りと考えていた。これら貴人の怨霊を鎮めるのが御霊会である。御霊会は朝廷だけでなく、祇園祭に見られるように民も行っており、民の対象は貴人の怨霊ではな

く疫神であったと考えられる。

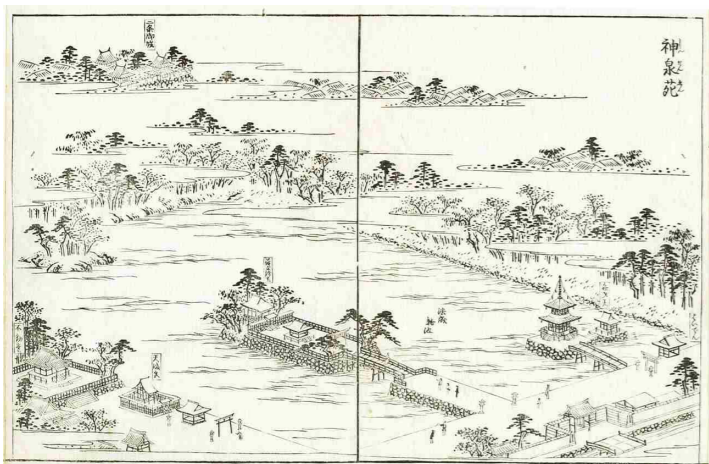
① 朝廷が行った最初の御霊会は、貞観5（863）年に清和天皇の勅令により、近衛中将従四位下であった藤原基経と藤原常行らを遣わして、大内裏の南に位置する神泉苑で行われている。その内容を記した『三代実録』の貞観5年5月20日の条には「廿日壬午。於神泉苑修御霊会。勅遣左近衛中将従四位下藤原朝臣基経。（略）」と続く。内容を要約すると

② 霊座六前に、花果を盛り、金光明経一部と般若心経六巻を説く。雅楽寮の伶人が雅楽を演じ、近侍の児童及び良家の稚児が舞人となる。雑技、散楽、競いてその能を尽くす。

③ 神泉苑の四門を開き、都の民衆が観ることができるようにした。

④ 御霊とは、崇道天皇、伊予親王、藤原夫人、觀察使、橘逸勢、文屋宮田麻呂のことで、近年の疫病の繁発は御霊のなせる所である。

⑤ 御霊会は京畿から始まり、夏、秋に何度も行われている。仏を礼ひて経を説くこと、歌、舞、相撲をとる、騎射や走馬などもある。これらは民の風俗になっている。



神泉苑の鳥瞰図 御池の中央が善女龍王社『都名所図会（巻之一）』（1780年）  
（国際日本文化研究センター所蔵）

⑤ 今年の春の初め、咳逆疫が流行り、百姓が多く斃れる。そこで朝廷として祈るために御霊会を開催した。

とあり、多くの民衆が神泉苑に集まり、疫病を蔓延させる御霊を御池に送っている。別の見方をすると、朝廷の存在を示す華やかな政のひとつであったとも考えられる。

この後も、朝廷や民衆が、船岡山、紫野、衣笠山、北野など都の周辺で多くの御霊会を行っていた。『日本紀略』によると平安中期の正暦5

（994）年6月に船岡山で行われた御霊会で、神輿2基が安置され、読経、奉楽、幣帛を捧げた。その後、神輿は難波の海に送られている。海へと神輿を送る理由は、疫病の蔓延を防ぐためには、疫神を都の外に払い流さなければと考えていたからである。この風習が今も息づいており、神座に集まった疫神を四散させないために、祇園祭の山鉾は巡行を終えると同時に解体することで、町内から疫神を払っている。

朝廷による初めての御霊会の6年後に行われた祇園御霊会において、神輿に集めた疫神を送っている神泉苑は、都の中で怨霊や疫神を送るのに最も相応しい地であった。その理由は、神泉苑が唐の玄宗皇帝が造営した興慶宮に倣い、唐風様式の乾臨閣や釣殿、滝殿などが池の北側に建てられ、桓武天皇など歴代の天皇が雅楽や狩りなどを楽しむため禁苑としてではなく、弘法大師が天長元（824）年に北天竺から善女龍王を勧請し、都

に雨をもたらした説話が『今昔物語集』に記されているように、天竺にも通じる祈りの地であったからであろう。事実、神泉苑において平安期を中心に、祈雨のために仁海僧正（東寺長者）や実賢僧正（醍醐寺座主）などの多くの僧侶が「請雨経法」を行っている。

神泉苑で始まった祇園祭の成立と経緯は、脇田晴子氏の著書『中世京都と祇園祭』（中公新書）が詳しく、祇園祭は八坂神社の祭事としての「神輿渡御」と町衆が行う「山鉾巡行」に大別される。「神輿渡御」は、975年頃に助正の居宅（高辻東洞院）が御旅所となり、現在と同様の形態が整うこととなった。神泉苑との関係としては、豊臣秀吉が御旅所を一ヶ所にするまでは、三基の神輿の中で神泉苑の周辺である二条、大宮、三条を遊幸するのは「婆梨采女神輿」であったが、現在は八柱御子神（八王子）が乗り遷られた西御座だけが還幸祭で神泉苑へ還幸されている。神泉苑では、池の中に建立された善女龍王社にある「善女龍王閻伽井」と彫られた井戸から汲まれた水を神輿にかけ、穢れを払い清めて



いる。祇園祭発祥の地として神泉苑では5月3日に行われる神泉苑祭で鉾が立てられているが、2020年は中止となり残念であった。

他にも「祇園祭」と水との関わりは深く、御輿を清めるための神事「神興洗式」が良く知られている。7月10日の朝、鴨川に架かる四条大橋の下流にある宮川堤で汲み上げた「神事用水」を八坂神社の神官が祇い清める。夕方6時になると神輿が出され、東御座と西御座は拝殿に据えられ、7時頃に「道しらべの儀」が始まり、四若神輿会の若衆が4メートルもの大松明を担ぎ、その火で八



祇園祭の起源をつたえる神泉苑祭での鉾建て（撮影：土橋賢治）

坂神社から四条大橋までの道を清めた後、3つの御輿を代表した中御座を担ぎ出し、四条大橋の中央北脇で神興洗が行われる。朝、鴨川で汲まれた「神事用水」を神に含ませ、神輿へ注いで清められる。四条大橋は、この飛沫を浴び、厄除を願う人々であふれる。同様の儀式が、7月28日にも行われる。ここにも、見えない厄を水で払い清める行為が見られる。

町衆にとつての清めの水もいくつかある。知られているのが、『都名所図会（巻之二）』で紹介されている「手洗の水」であろう。絵図には「手洗の水は烏丸通り錦小路の北にあり。むかし、大政所町に祇園神輿の御旅所ありしとき、参詣の輩、ここにて手水なしける」とあり、今も、宵々



祇園祭の神興洗で用いられる「御神水」

山の7月15日から24日までの10日間だけ柵が開けられ、水で自身を清めることができる。この期間だけ民衆に開かれるのは、織田信長の命であったとされる。この他にも大阪の難波

から祇園祭の神輿をかきよきた若衆が手水に使った「蛭子水」が四条通油小路西入ルにあった。占出山には神功皇后の人形を飾る建物の入口にある井戸があり、宵山に参拝する人はこの水で手水したという。このように、町衆が清めに使った井戸は町々にあったと推察される。穢れを払う視点とは異なるが、江戸前期に始まった鴨川の納涼床も、当初は祇園祭の間（旧暦の6月7日から18日）



葵祭の路頭行列の儀式【都名所図会（巻之六）】（1780年）（国際日本文化研究センター所蔵）

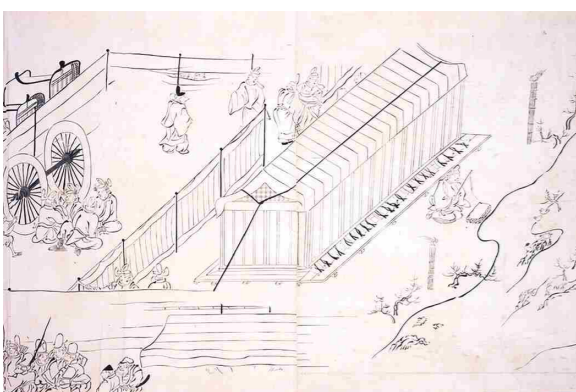


季節の花を飾りつけた風流傘（明治40年～大正7年の絵葉書）

に行われており、祇園祭と水（鴨川）の関係は深い。

「穢れを払う水」と聞かれると、私達が最初に思い浮かべるのは「葵祭」の神事の一つ「齋王代御禊の儀」であろう。平安装束をまとった齋王代が御手洗の水に手を浸し、身を清める所作に雅を感じる方も多く、毎年のようにニュースで放映されている。「葵祭」については、所功氏の著書『京都の三大祭』（角川新書）が詳しく、その起源は前述の「祇園祭」と異なり五穀豊穡を願うために欽明天皇（509―571年）の命で567年に始まったとされる。『秦氏本系帳』所引の『山城国風土記』逸文に、風雨で百姓が飢えているのは賀茂の神の祟りなりとの占いがあり、4月の吉日を撰んで、猪の頭をかぶり、鈴をつけた馬で駆ける祭礼を行ったところを五穀実ったことにある。ここにも見えない祟りが関係している。

本題となる「水で穢れを払う儀式」は、嵯峨天皇（786―842）が平城上皇との争いに勝利し、加茂大神への祈願成就として、弘仁元年（810）年に賀茂斎院（上京区上



齋王が鴨川で禊をする様子【年中行事絵巻】（出典：宮内庁ホームページ）

御霊前通大宮西入）を設けたことに始まる。斎院が設けられた神社は伊勢と賀茂だけであり、賀茂社が重視されていたことが伺える。路頭行列の儀で、齋王は一条大宮・堀川通の列見の辻で祭使の一行と合流して賀茂社へ向かうこととなる。その数日前（三日前の午日が多い）に齋王は鴨川で禊を行うこととされており、その様子が平安後期の作とされる『年中行事絵巻』に描かれている。絵図から見ると、夕刻の儀式であったのか鴨川で禊を行っている人物の傍に松明が置かれ、周囲には幕が引かれている。この齋王御潔の儀式は平安期の都人にも人気があり、見物

する人々で込み合ったことが『源氏物語』の「葵」などにも記されている。賀茂斎院は後鳥羽院と鎌倉幕府が争った承久の乱（1221年）以降、経費の関係もあり途絶えることとなった。現在の齋王代として再興するのは、1953年に路頭行列の儀が復活し、1956年に齋王代の女人列も加えられるようになってからである。（注：路頭行列の儀は元禄年間から何度か再興されるが、齋王の女人列は設けられなかった）平安中期に編纂された律令の施行細則である『延喜式（巻第六神祇六齋院司）』に「凡天皇即位。定賀茂大神齋。王仍簡内親王末婚者ト之」とあるように齋王（代）は未婚であることが求められるのは、今も昔も変わらない。

平安期において鴨川で穢れを払う「禊」が行われるようになるのは、「齋王御潔」が始まった810年以降で、初見は『日本紀略』の弘仁5（814）年6月19日の条に「禊於鴨川」とある。賀茂斎院を設けた嵯峨天皇が鴨川で禊を行った最初の天皇となる。その後は、仁明天皇が天皇10（833）年10月19日の大嘗会において賀茂河で禊ぎを行うなど、

幾つかの記述が見られる。

この穢れを払う行為の起源を求めて文献を紐解くと、『日本書紀』の欽明天皇の条に秦大津父が伊勢からの帰りに、山中で二匹の狼が咬み合って血まみれになっているのに出会い。馬から下りて、手を洗い、口を濯ぎ「あなた方は恐れ多い神であるのに、荒々しい行いを好まれます。もし獵師に出会えば、たちまち捕らわれてしまうでしょう」といい。咬み合うのを押しとどめ、血に濡れた毛を拭き、洗って逃がし、命を助けたとある。この「手を洗い、口を濯ぎ」の行為が「手水」のはじまりといわれると、これまで述べてきたように「宗教的価値」、「精神的価値」と答えることになる。見えにくい価値に併せて、感染症対策の基本が手洗いにあることを、毎日のようにテレビが伝えてくれる。見えない穢れ（ウイルス）を払う水の有効性を、平安人は千年以上前から儀式を用いて広く知らしめてきた。これも理にかなった水文化と言えよう。2021年は葵祭、祇園祭が例年同様に行われることを切に願っている。

# 水分け街道をゆく

評論家・文化プロデューサー

河内厚郎



中央分水界（水分け）【写真提供：丹波市】

丹波の国は山陰道に属するが、山陰と山陽にまたがる国といえるのではないだろうか。一昨年、本州でいちばん標高の低い中央分水界がある「水分け」（丹波市氷上町）を訪れた。山脈部では分水嶺（山脈部では分水界を分水嶺という）は山岳の稜線と一致することが多く、高い峰にあるのが一般的なのに、氷上町石生の「水分け」では標高95.45mという低さである。この地を流れる高谷川（加古川水系の支流）から分岐した用水路は北へ流れ、黒井川・竹田川（の最上流部）・土師川・由良川を経て、約70km先の日本海へ注ぐ。一方、高谷川の本流は加古川を経て、約70km先の瀬戸内海へ流れ出る。もし海面が100m近く上昇したなら、加古川も由良川ライ

ンで本州が東西に分断されることになるのは、本州で唯一（青森県や山口県のような本州両端の県を除く）日本海と太平洋・瀬戸内海に面した兵庫県ならではのことであろう。

この分水界に旅館料亭「大和」（氷上町石生）はある。ここでは、北側に降った屋根の雨は由良川から日本海へ、南側に降った雨は加古川に流れて瀬戸内海に届く。春夏秋冬、山と海の恵みを、必要以上に手を加えず、本来の美味しさを引き出すことを心がけているという。中央分水嶺を境にして、気候はもちろん動植物の生態も違ってくるというのに、水に分かれてはその区別が判然としないため、日本海に棲息する魚や植物が加古川やその沖で見つかったりするという不思議なことが起こる。どこかで水脈がつながっているのだろうか。

この分水界の流域は平地（扇状地）にあり、高谷川（丹波市）の右岸堤

防側が由良川流域で、左岸堤防側が加古川流域になっている。加古川上流部の支流である高谷川の水源付近には、由良川水系・竹田川の支流、黒井川との谷中分水界（平野を通る分水界）があり、平地部の延長は1250m。この川の上流部には人工的に作った由良川へ流す水路の分派口があり、ここから下流の佐治川左岸沿いにのびる国道175号は、篠山川合流点まで「水分け街道」と愛称されている。

加古川水系有数の規模をもつ支流の篠山川と佐治川の合流点は、古くから「であい」と呼ばれて、ここまでが上流域、それより下流が中流域となる。この合流点が旧丹波国（上流）と旧播磨国（中下流）の分岐点となっている。

## 偶然の過ちが悲劇へと

近松門左衛門の『大経師昔暦』（1715、大坂竹本座上演）に登場

する「おさんの森」は、この分水界をもつ丹波市柏原町にある。

京の大経師・以春は、おさんという美しい女房がありながら、かねてより下女のおたまに心を寄せていた。夫の非行を咎めるために、或る晩、おさんは寢床をおたまと変えて寝ることに……。ところがそこへやってきたのは夫ではなく、おたまと恋仲の手代・茂兵衛。勘違いとはいえず、暗闇の中で2人は不義の契りを交わし、茂兵衛の生まれ故郷である丹波へと向かう駆け落ちの道中、身を伏せて隠れていた森で、結局、ふたりは追手に見つかり処刑されてしまうのだ。

この物語は実話をもとにしているといわれ、恋の成就を願って「おさ

おさんの森「丹波越え」には「かけおち」の意味がある



おさんの森「丹波越え」には「かけおち」の意味がある

んの森」の祠には、若者の参拝者が見られる。善意でしたことが思わぬ誤解をうみ、その誤解がもとで社会のタブーを破り、性の深淵にふみこんでしまう男女の悲劇……

井原西鶴の『好色五人女』では「おさん茂兵衛」でなく「おさん茂右衛門」となっている。近松物と西鶴物とを合体させる形で川口松太郎の書いた戯曲が基になっているのが、長谷川一夫・香川京子の主演した映画『近松物語』（大映、溝口健二監督、1954）である。

可哀想なおさんと茂兵衛ではあるものの、限られた時間を充実したものとして生き抜こうとする健気さも見せる。近松の場合は運命に翻弄された哀れな女であり、仏教的なものが底に流れていて、諦観というか無常観があった。しかし西鶴の場合は、封建社会の一女性が自分の運命をきりひらいて、世俗的な権威に立ち向かっていくところを強調している。処刑されてあの世に自分の夢を託すのではなく、あくまでも逃げのびようとする西鶴作品の女は、おさんにしろ、お夏清十郎にしろ、つかまる時は運命と諦めるものの、

潔いところがあって、それぐらい生き延びて好きな男と一緒に暮らそうという現実主義的なところがある。地元丹波ではオペラにもなった。

## 過酷な運命に翻弄される人々

由良川は、京都府・滋賀県・福井県の境の三国岳を源として、京都府北部と兵庫県にまたがって流れ、若



由良川河口【写真提供：国土交通省 近畿地方整備局 福知山河川国道事務所】

狭湾へ流れるようになったことである。

森鴎外の『山椒太夫』のモデルになったとされる説教節『さんせう太夫』によって広く知られた、安寿姫と厨子王（対王丸）の人買い譚の世界を題材とする浄瑠璃『由良湊千軒長者』は、竹田小出雲（3世竹田出雲）、近松半二、三好松洛の合作。1761年（宝暦11）5月、大坂竹本座で初演された。

——奥州岩城（岩木）

の領主であった父を殺され、家を追われた安寿姫と厨子王の姉弟は、丹波の領主・三莊太夫のもとへ売られてしまう。連日酷使され苦難の日々を送る姉弟のもとへ、ある日、父の家臣であった盾部要之助が現れる。偶然にも要之助は、三莊太夫の娘・おさんが町中で一目惚れした相手だった――



人形浄瑠璃文案「由良湊千軒長者」【協力：人形浄瑠璃文案座 写真提供：国立劇場】

安寿たちを探しにきた要之助を、行方不明だった実兄とは知らずに恋したおさんは、それを恥じ、父の悪業をいさめて自害する。岩木判官を殺した三莊太夫は、実子の出現と娘の死によって悪を悔い死んでいく。救われた安寿と対王は佐渡へ渡り母親と再会する――

安寿姫と厨子王が三莊太夫から受けた焼き印の火傷を一夜にして治し、代わりに右肩の傷と胸元の焼け痕を負ったと伝わる「身代わり地藏（木造地藏菩薩坐像／快慶作／京都府指定文化財）」を安置する、如意寺の境内には三莊太夫のものといわれる首塚がある。安寿の里もみじ公園の展望所からは由良川と日本海が



身代わり地藏（如意寺）

一望でき、近くには三莊太夫屋敷跡もある。

### 緩い流れと急峻な岩場

加古川は、607年（推古天皇15年）、聖徳太子によって用水路が整備されたとされる。かつては日本最古の取水施設・五ヶ井堰が長く存在し、測量の基準点となったと伝えられる「太子岩」が現在も残る。

豊臣秀吉の頃から中流域の岩場が徐々に開削され、上流の丹波から河口まで、高瀬舟を用いた舟運が発達。水資源を利用した手工芸産業が栄え、繊維製品では丹波布（佐治布）・丹波木綿・播州織、陶器では立杭焼、また杉原紙・三木金物（鋺、肥後守：）・播州そろばんなどが知られる。

加古川本流の河床勾配は日本列島の河川としては緩いが、中流域は一部急流が分布し、加古川の河口から36kmにあるのが鬮龍灘（加東市、JR加古川線「滝」駅近く）で、さらに下流には加古川大堰がある。川



鬮龍灘 【写真提供：国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所】

底から起伏する奇岩・巨岩の間を激しく縫って流れるさまを、江戸後期の漢詩人・梁川星巖が「まるで龍が暴れて闘っているようだ」と詠んだ



詩から命名された鬮龍灘は、高瀬舟が通るには水の流れが激しすぎるため、途中で荷物を積み下ろす必要がある、舟運にとりネックであった。これを解消するべく、1873年（明治6年）に最後の開削工事が行われたが、1913年（大正2年）、中流から下流にかけて川と並行するよう播州鉄道（現JR西日本加古川線）が開通して舟運は姿を消した。

それでも河川名と同名の都市、加古川市は加古川との関わりをつよく意識してきた。1995年夏には第4回全国川サミット、2010年9月にも第19回サミットを開催。1998年から2010年までは毎年、(財)加古川ウェルネス協会から川の絵画大賞が贈られていた。中流域は日本有数のゴルフ場集中地帯となり、加古川は播磨灘へと注ぐ。

### 「水夫」は「かこ」？

古代における中国大陸や朝鮮半島と畿内との交流は瀬戸内海航路を主にして語られがちだが、実は加古川（由良川）日本海コースの水運も重要な役割をはたしたらしく、「かこ

がわ」の名は「水夫」（かこ）に由来するとの説がある。加古川は内陸部への重要な交通経路だったので、河口付近には多くの船が往来し、拠点港になった。平安末期、加古川が潤す印南野（明石川と加古川、その支流美囊川に囲まれた三角状の台地）を平清盛が遷都の候補地にあげたのは、国際感覚に長じ、商業貿易を好んだ政治家らしく、そのあたりに理由があったかもしれない。

江戸時代初期の鎖国以前に天竺（インド）と貿易をしたとされる商人・天竺徳兵衛（高砂出身）は歌舞伎の主人公にもなったし、幕末に太平洋を6度横断したジョセフ・ヒコのように、国際感覚に秀でた人間が東播磨の加古川下流域からは出ている。

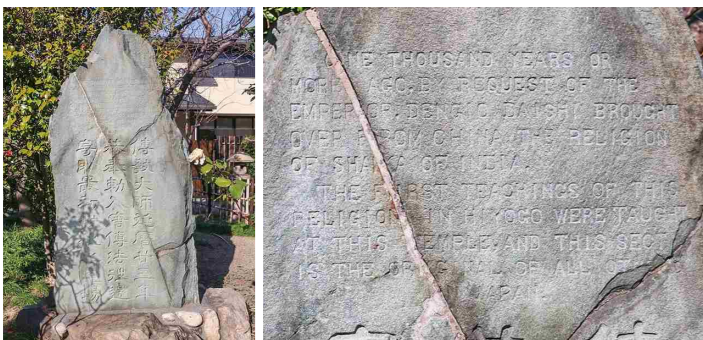
開港時の横浜で本邦初のニューズペーパーを発行し、これを「新聞」と名付けた、ジョセフ・ヒコ（本名・浜田彦蔵）は、現・播磨町古宮に生まれた。13歳のとき江戸へ出かけた帰途、遠州灘（静岡県沖）で船が難破して太平洋を52日間漂流。アメリカの商船に救助されて、合衆国大統領と会見した初の日本人となる。カトリックの学校で教育を受け、受

洗してジョセフ・ヒコと名を改めて、日本の開国により帰国をはしたが、攘夷の嵐が吹き荒れる中、身の危険から再び渡米。今度はリンカーンと握手している。それでも祖国への思い絶ちがたく、日本へ戻って横浜で活躍した後、故郷に近い神戸や大阪で多くの事業に関わった。幕末に太平洋を横断すること、実に6回。波乱万丈の人生を送った人物なのにジョン万次郎のように知られていないのは残念だが、優れた歴史文学者の吉村昭に『アメリカ彦蔵』という作品があり、平清盛が出

家した能福寺（神戸市兵庫区）には、ヒコの記した日本最古の英文碑があることを付け加えておこう。加古川河口部の話題を、もうひとつ。

1967年から東京都知事を三期つとめた美濃部亮吉（1904～1984）は、都知事を退いて参院議員となつてから、父の故郷である高砂市を夫婦で訪れた際、天皇機関説を唱えたこと

江戸期を代表する国際派の知識人、山片蟠桃も高砂の産だが、紙幅が尽きてしまった。



ヒコの英文碑（能福寺）

石碑の英文は次のように書かれています。  
ONE THOUSAND YEARS OR MORE AGO, BY REQUEST OF THE EMPEROR, DENGIO DAISHI BROUGHT OVER FROM CHINA THE RELIGION OF SHAKA OF INDIA. THE FIRST TEACHINGS OF THIS RELIGION IN HIYOGO WERE TAUGHT AT THIS TEMPLE, AND THIS SECT IS THE ORIGINAL OF ALL OTHER IN JAPAN.  
『千年以上前、天皇の要請により、伝教大師（最澄）が中国から仏教を伝えました。兵庫におけるこの宗教の最初の教えはこの寺で行われました。これは日本の他の宗派全ての元祖です。』

## 寝屋川市内を中心とした 淀川左岸地域の流域連携活動

摂南大学 理工学部都市環境工学科  
准教授/博士(工学) 石田 裕子

### 1. 寝屋川再生ワークショップの あゆみ

寝屋川市の市名は、市内中心部を流れる一級河川・寝屋川に由来している。寝屋川流域では、これまで内水氾濫による浸水被害が度々発生してきた。昭和30年代から、河川改修や治水施設の整備などの水害対策が進み、水害危険度は大きく減少した。しかし、その結果、寝屋川市内の河川や水路はコンクリート化が進み、人が近づきにくくなった。

寝屋川再生ワークショップは、2001年に寝屋川市の市制50周年を契機として、一級河川・寝屋川の再生プランを策定することを目的として始まった。公募委員30名を募集したところ、61名が応募し全員を公募委員として任命し、市と協働して寝屋川本川で重点整備箇所を4箇所選定した。1箇所目の京阪寝屋川市駅前の整備では、ワークショップの中で基本設計から実施設計、工事施工段階まで議論した。

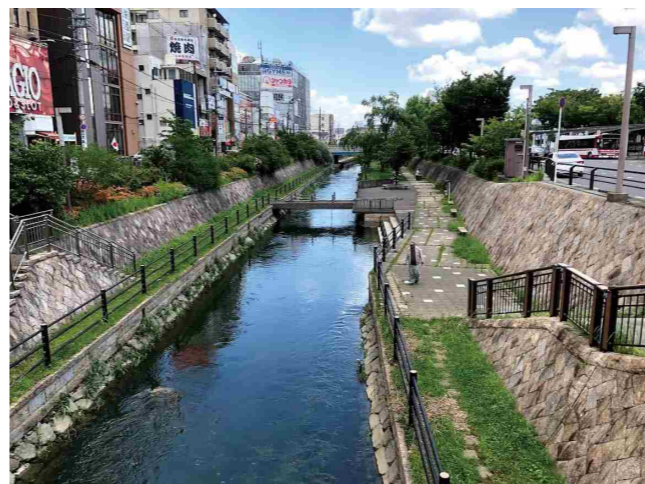


図-1 寝屋川せせらぎ公園

3年間の議論を経て、「寝屋川せせらぎ公園」は2005年に完成した。

このワークショップの特徴は、一般市民、市内の大学の教員および学生、市内在住の中学高校生など、多様な参加者が対等な立場で話し合うことであった。また、ただ行政に要望するのではなく、自分たちがどう行動したいのかという視点で意見を出し合った。こうすることで、合意形成過程に主体的に関わったという意識が参加者に生まれた。そして、継続して関わりたいという思いが参加者



図-2 ワークショップの様子

の中に生まれ、その後ワークショップ委員の中から市民団体「ねや川水辺クラブ」が誕生し、現在まで整備後の水辺空間の維持管理を継続しておこなっている。

寝屋川再生ワークショップおよびねや川水辺クラブの取り組みは、クリーンリバー作戦、外来種除去作業、生き物調査、舟下り、源流ハイキングや間伐作業、川づくりの実働作業、総合学習など、あらゆる市民活動に広がり、寝屋川市内の川づくりを進めてきた。

その間、寝屋川本川では「幸町公園」2014年から点野水辺づくりワークショップが始まった。このワークショップには、これまで点野拠点整備活動に参加していた団体の他、地元の高校や企業も加わり、かつてワンドがあった場所への新たなワンドの整備など、親水利用と生物の生息場保全を両立させた整備計画について議論した。整備の議論と並行して、点野水辺づくりプロジェクトが発足し、淀川まるごと体験会の他、茨田イチョウまつりや地元小学校の遠足などを実施している。整備は2019年度から2か年をかけて予定されており、整備後の市民利用が期待されている。

### 3. 淀川沿川まちづくりプラットフォーム フォーラム・中流域協議会の 動き

これまでの市民活動とは異なり、淀川沿川のまちづくり団体や舟運事業者等で構成された「淀川沿川まちづくりプラットフォーム」が2017年に発足した。これは八軒家浜から枚方までの舟運復活を契機に、淀川沿川の将来像を共有することを目的としている。淀川沿川の地域資源を活かし、その価値を高め、



図-3 点野砂州

### 2. 淀川・点野地区における 水辺整備の取り組み

寝屋川再生ワークショップでは、主に市内河川と水路について取り組んでいる。しかし、寝屋川市内には、淀川も流れており、寝屋川市内での水辺整備の取り組みは淀川にも広がっていった。

ここで、2006年から「点野地区拠点整備活動」が淀川管内河川レンジャー（住民と行政が一緒になって川の管理や整備を行うためのコーディネーター）とねや川水辺クラブを中心とした市民の協働で行われている。2012年からは摂南大学エコシビル部も主催者として参画し、官民学協働の取り組みに広がった。主に月1回の草刈り、外来植物駆除、台風後の流木・倒木の除去、ゴミ拾いなどを行っている。また、年に1回、「淀川まるごと体験会」として、流域内の他の市民団体等の協力も得て、子どもたちとその家族を集めてSUP・カヌー体験、魚とり、ヨシ笛づくり、スローロップ・浸水歩行体験など、様々な体験活動を通して淀川の魅力に触れてもらう機会を提供している。



図-4 協議会の舟運イベントの様子

(注) ワンド：本川と接続した流れの緩い池状の水域。水生生物の産卵場所や成育場所として重要である。

## 水都大阪と幻の大阪大国技館(12)

水都の会城北川プロジェクト(代表 藤井 薫)

コロナウイルスが全世界を席捲。大相撲大阪場所は無観客興行、東京五輪も延期。各国とも困り果て、かくなる上は神頼み?でしょうか。

新型コロナウイルスが蔓延し始めた2月20日、大阪市西淀川区、野里住吉神社の「夜官女祭」に行ってきました。現代では昼間、幼女が本殿で疫病と水害を祓う儀式に臨みますが「一夜官女」とは、元来神社にある龍ヶ池の淵の祠に神への「人身御供」として一夜籠った乙女のことです。八墓村ならともかく、21世紀の大阪とは思えぬ究極の神事ですが、ウイルス退散は叶うのでしょうか。



野里住吉神社 一夜官女祭の行列

その際、この神社の境内で大正時代の「消防隊」の記念碑が建立されているのを見つけました。消防隊(以下、当時の通称「消防組」という)とは、現在の消防団のことです。偶然ですが、実はこれまで本稿で



野里住吉神社は頻りに氾濫し疫病をもたらした旧中津川の堤防上に祀られている

紹介してきた国技館と大阪相撲は当時の消防組、そして疫病と深い関係がありました。更なるパンデミックが迫る現在、今号は予定を変更し、それらの話をさせていただきます。

### 俠客「小林佐兵衛」

まず、幕末から明治にかけて活躍した大阪の俠客、小林佐兵衛の登場です。小林は、幕府御用商人による堂島米相場の吊上げの企みを潰し、一躍庶民の喝采を浴び、維新の後は自ら米相場で巨万の富を築きます。しかし「や



小林佐兵衛

### 角力風邪(すもうかぜ)とは?

大正7年4月、東京・大阪角力協会合同巡業が台湾で行われた際、事件が起こります。一行のうち約20名が原因不明の熱病に罹り、大阪方の若木山他2名の力士が亡くなります。実はこの熱病の正体は20世紀最大のパンデミックと言われたインフルエンザ「スペイン風邪」で、日本初の犠牲者は力士だったのです。



角力風邪は力士病とも呼ばれた【信濃毎日新聞 1918年10月23日付】

### スペイン風邪による被害

大正7年に米国で発生し、世界中に蔓延したスペイン風邪による死者は、結局全世界で2千万〜4千5百万人に達します。同時期の第1次世界大戦での戦死者は約1千万人です。被害の大きさがわかります。日本でも「マスクの着用やうがい」

くぎの親分が相撲とどう関係あるの?」と思われたかもしれませんが、実は今日の相撲協会の基ともなる東京・大阪の合併相撲が難産の末、明治になって初めて実現した裏には小林の働きがあったのです。

小林は後に大阪相撲の分裂回避にも尽力。恩義に感じた大阪角力協会は力士でもない小林を協会総理(会長)に迎えます。小林の政治力、財力を当てにしたのかもしれませんが、小林は私財を投げ打ち、浮浪者や生活困窮者等に食事と宿を提供し職業訓練を行う「授産所」も経営。にわかには信じ難い話ですが「社会事業家のやくざ?」だったわけですね。

### 大阪相撲と消防組

一方、小林は明治6年に時の大阪府知事、渡辺昇から大阪市「消防組北大組」の頭取に任せられます。成立間もない明治政府の威令が行き届かぬ当時、火災現場では様々な者が乱入し混乱を極めていました。手を焼いた渡辺は結局、小林の「仕切る力」と財力に頼ったのでしよう。意気を感じた小林は自費で全地域に手下を配置。明治初期の大阪の消防に大きく貢献しました。

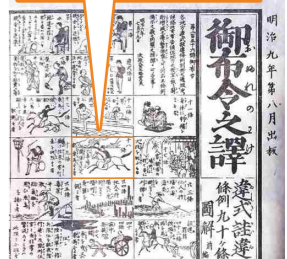


内務省衛生局の広報(大正7年)

だが、当時の医療水準では手に余るものがあり、大正7年〜大正9年にかけて急速に蔓延し、結局全国で約45万人の死者を出しました。当時の日本の人口は約5千5百万人です。仮に死亡率が同じとすれば、恐ろしいことに現在なら何と百万人が亡くなる計算になります。今ではすっかり忘れ去られています。ですが、実はこの時の大阪府の死者は全国最多の約2万7千人でした。大阪の悲劇を今に伝える石碑が天王寺の一心寺に残されています。



第18條 火事場に無関係な者の馬での立入を禁止(上方第4号)



図解による法令違反9ヶ条(明治9年)

この小林が大阪角力協会の総理です。この頃、東京でも「力士消防別手組」という力士の消防組ができましたが、僅か2年で活動を休止します。東京の火事場では、江戸町火消の流れを汲む身軽な鳶職が飛びまわり、主に長葺で建物を壊し延焼を止めており、力士の出番は少なかったのです。



引消による破壊消防【大阪市 消防50年のあゆみ】

一方、大阪では引消と言って、周囲の家屋に曳縄をかけ、引倒して鎮火していました。破壊消防でもこれなら力自慢の力士の活躍余地十分。火災現場で下敷きとなった市民の救助にも活躍したことでしよう。又、現在消防団の多くは水防団も兼ねていますが、明治初期の大阪でも別途設置された水防組とともに消

大阪国技館とパンデミック  
前号で紹介したように大正8年9月新世界にて、大阪国技館開館記念



「大正8・9年流行感冒病死者群霊」の慰霊碑(大正11年建立)

東西合併大相撲が開催されました。そうです!大阪中が待ち望んでいた大阪国技館のオープンは、偶然にも世界でスペイン風邪が吹き荒れるその真っ只中だったのです。初めてこの疫病に罹患し、病気の汚名を着せられた力士たちや最も被害の大きかった大阪府民にとって長い間の憂さを晴らす絶好の機会だったのかもしれない。新国技館で10日間満員御礼が続いた裏には、このような背景があったのです。



大阪国技館(新世界の国技館)

百年たった今年の3月、再びパンデミックの危機に瀕した大阪で開催された春場所初日。相撲協会を代表し、八角理事長が「古来から力士の四股は邪悪なものを下に押込む力があるといわれてきた」と述べられました。残念ながら夏場所は中止になりましたが、スペイン風邪同様コロナウイルスも、相撲の神事「四股の力」で今こそ地に押込めてもらいたいものです。(国技館の謎、次号に続く)



# おかげさまで、みずからまなぶ情報誌「水が語るもの」は第20号の発刊を迎えました！

「水が語るもの」は、川と水について、さまざまな視点からの情報をまとめて紹介する広報誌として2009年8月に創刊し、今回で第20号の発刊を迎えることができました。水は様々な形で人と接してきます。そのような“水の声”を聴き取る誌面づくりを目指して「水が語るもの」と名付けました。また、「みずからまなぶ情報誌」とは“水から”と“自ら”、2通りの意味が込められています。今回は節目として、これまで発刊した表紙と共に歴史を振り返ります。

2009  
創刊！

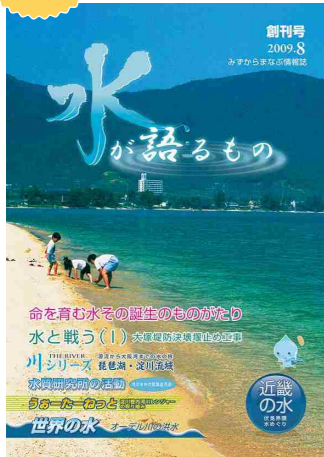
2010

2011

2012

2013

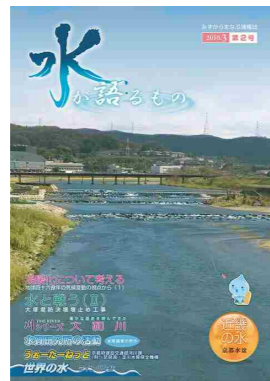
2014



創刊号 2009.8  
源流から大阪湾までの水の旅  
琵琶湖・淀川流域

全24ページの創刊号は、意外と知らない水の誕生のお話から始まり、本誌のメイン記事となる「川シリーズ」で琵琶湖・淀川流域を特集、さらに近畿伏見、世界の川、水質汚染と、多方面からの水の話をもふんだんに盛り込んだ記念すべき号でした。

- 05.18 アップルの多機能端末「iPad」発売
- 06.13 小惑星探査機はやぶさ 地球へ帰還



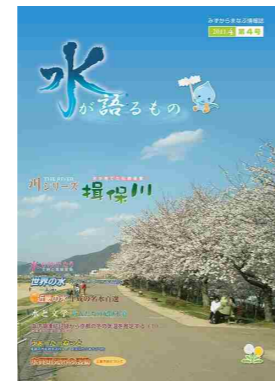
第2号 2010.3  
遙かな歴史を刻んできた  
大和川

第2号「大和川」は、奈良時代の遺跡が多く残り当時の文化を感じられる地域です。万葉集の水にまつわる和歌も紹介。第3号「紀の川」は豊富な自然と高野山などの霊場が有名な地域です。この号より水に関する文学のお話「水と文学」を開始。第8号まで高野浩二さんに執筆いただき、日本書紀や古事記、万葉集などの水辺の神話や歴史のお話は、古の日本にタイムスリップしたような読後感で、読者にも人気でした。



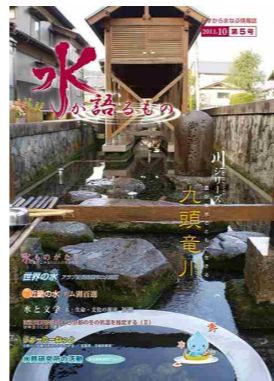
第3号 2010.9  
自然が奏でる豊かなめぐみ  
紀の川

- 03.11 東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）
- 07.17 サッカー女子W杯 日本初優勝



第4号 2011.4  
水が育てた伝統産業  
揖保川

この年の3月11日、東北地方太平洋沖地震が発生。地震やそれに伴う津波で多くの方が犠牲になり、改めて身近な存在の水が時には恐ろしいものへ変貌することを実感しました。第4号「揖保川」第5号「九頭竜川」は、水によって発展した人の生活を主とした紹介でした。「近畿の水」では百選シリーズを開始。第9号まで、名水、ダム湖、水の郷、滝など、読者が行ってみたいような場所をチョイスしました。



第5号 2011.10  
豊かな水とともに生きる  
九頭竜川

- 05.22 東京スカイツリーオープン
- 10.18 山中伸弥氏 iPS 細胞開発でノーベル生理学・医学賞



第6号 2012.5  
コウノトリの郷  
円山川

第6号より全28ページへ増え、内容も充実してきました。「円山川」流域紹介での竹田城跡は、幸運にも雲海に浮かぶ幻想的な城跡を撮影することに成功！表紙に初めて生物の写真を採用し、河川や水に関係する土木遺産紹介など、写真に力を入れた誌面づくりになってきました。第7号「猪名川」は、多くの水害に見舞われながらその改修について紹介しています。また、意外と知らない外来植物の記事も身近な水辺環境について考えるきっかけとなりました。



第7号 2012.11  
人と川とのつながりの創造  
猪名川

- 06.26 世界遺産に「富士山」登録
- 12.04 ユネスコ無形文化遺産に「和食」の食文化登録



第8号 2013.7  
ゆられ流れる恵の清流  
由良川

「由良川」は水害が多く、水にまつわる神社がいくつかあり、浦島太郎伝説が残る水神社や、堤防自体をご神体としたユニークな神社も紹介しました。

- 03.07 日本一高いビルあべのハルカス開業
- 04.01 消費税8%に引き上げ



第9号 2014.8  
黒田官兵衛の活躍した流域  
加古川

この年はNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」が放送され、官兵衛にゆかりのある「加古川」流域を特集しました。藤井薫さんの大阪大国技館の記事がスタート。水都大阪に関連した幻の大国技館のお話は、当時の大阪の街や世情も感じられます。

2019

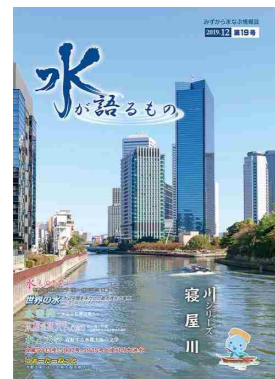
2018

2017

2016

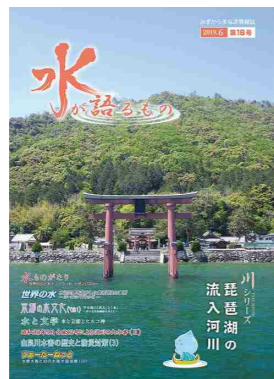
2015

- 05.01 新天皇御即位・平成から令和へ改元
- 10.01 消費税10%に引き上げ
- 10月 台風19号・千葉県豪雨
- 10.31 首里城火災



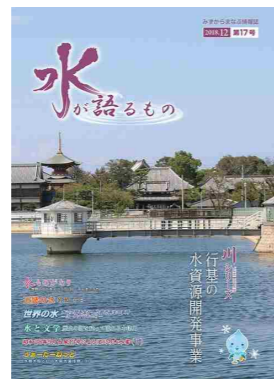
第19号 2019.12  
古代の歴史を支え、都市化に伴った庶民の川  
寝屋川

年号が平成から令和へ変わり、気持ちも新たな年となりました。第18号「琵琶湖流入河川」は、琵琶湖の島巡りなど思わず行ってみたいくなる特集も。第19号「寝屋川」は、都市化によって災害に見舞われつつも、治水整備で改善されていく様子を紹介。水害碑の記事も新たに開始。この年から国土地理院の地図記号にも「自然災害伝承碑」が追加され、当時の被害やその後の復旧状況を伝承する重要な標であることを感じました。そして創刊号から水害の記事を執筆いただいた宮井宏博士の連載がついに完結。災害当時の生々しい様子を知る貴重な記事でした。



第18号 2019.6  
歴史を育み暮らしを支える湖と河川  
琵琶湖の流入河川

- 06.18 大阪府北部地震
- 09.04 台風21号 関西空港浸水
- 09.06 北海道胆振東部地震
- 11.23 2025年大阪万博開催決定



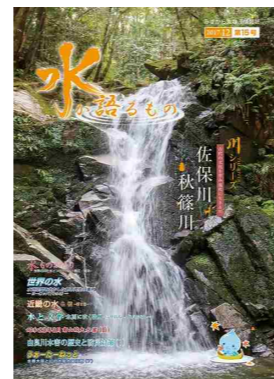
第17号 2018.12  
行基の水資源開発事業

この年の近畿・特に大阪は地震・台風と災害続きでしたが、万博開催決定と明るいニュースもありました。第16号「表六甲河川」は急勾配を活かし産業が発展しましたが、急な流れのため災害も多い地域であることを紹介。第17号では初めて人物にスポットを当て「行基」を特集。東大寺の建造に関わり、奈良時代の水インフラを築いた僧侶・行基。行基が実施したインフラ事業は、現在にも通じるところがあり、多くの学びがありました。



第16号 2018.6  
阪神間の繁栄とともにした諸河川  
表六甲河川

- 06.12 上野動物園でパンダ誕生
- 6~7月 九州北部豪雨
- 09.09 桐生祥秀氏 陸上100mで日本選手初の9秒台



第15号 2017.12  
古代の文化を育み現代に生きる川  
佐保川・秋篠川

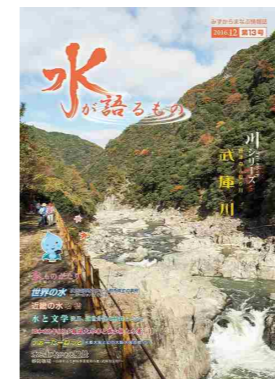
周囲に平城京の面影を感じられる建造物が残り、復元も進められている「佐保川・秋篠川」を紹介。川沿いに桜を植える運動は、今も昔も行われ、人々が川を大切にしたいという気持ちがうかがえます。



第14号 2017.6  
七夕と星々伝説の里  
天野川

空の天の川と同じ名で七夕伝説の発祥の地域とも言われる「天野川」を紹介。多くの七夕伝説が残りロマンを感じられる号となりました。

- 01.01 マイナンバー制度導入
- 04.14 熊本県熊本地方地震
- 05.26 伊勢志摩サミット
- 06.22 選挙権18歳に引き下げ



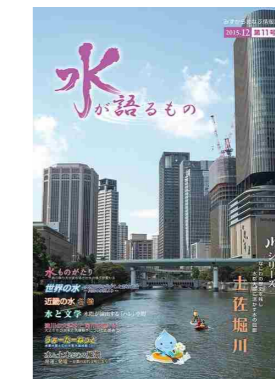
第13号 2016.12  
摂津の人取り川  
武庫川

第13号「武庫川」は暴れ川として水害が多いものの、四季折々の自然の魅力も満載な地域であることを紹介しました。第12号「鴨川」では、古都京都の魅力満載で、納涼床など川沿いの憩いの場や風情ある神社巡りも楽しめる誌面になりました。



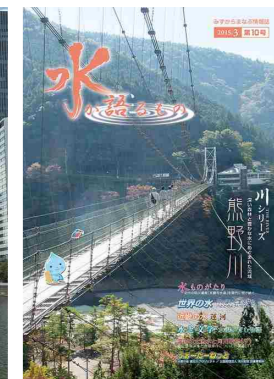
第12号 2016.5  
1200年の歴史に彩られた古都京都の文化を育む  
鴨川

- 03.14 北陸新幹線開業
- 07.16 お笑い芸人の又吉直樹氏「火花」で芥川賞
- 10.05 大村智氏 感染症研究でノーベル生理学・医学賞
- 10.06 梶田隆章氏 ニュートリノに質量発見でノーベル物理学賞



第11号 2015.12  
なにわの歴史を残し水都大阪に活かす水の回廊  
土佐堀川

第10号は、豊かな森林に恵まれた「熊野川」を紹介。下を見るときめまいがするような谷瀬の吊り橋が表紙です。この号から「水と文学」の連載を河内厚郎さんが執筆。古典文学のみならず芸能など、豊富な話題をわかりやすい文章で書いて頂いています。第11号は打って変わって街中の「土佐堀川」を紹介。近年の水都大阪の風景を楽しめる記事となりました。「近畿の水」は名橋紹介を開始。日本書紀に登場するような古の橋から、近代の街中に渡る橋までバラエティに富み、第17号まで続きました。



第10号 2015.3  
深い森林と豊かな水に恵まれた流域  
熊野川